2022年度

「むすびえ・地域ネットワーク団体伴走支援基金助成」

申請書

記入日：　　　　年　　　　月　　　　日

適宜、入力スペースを調整していただいて構いません。本申請書類に記載の内容は、許可なく公表いたしません。そのため、できるだけ具体的に関係者との関係性や地域の状況について教えてください。正しく、地域の実情を理解した上で、選考及び伴走支援基金の取組を進めていきたいと考えています。

なお、主語はすべて地域ネットワーク団体でお願いします。事務局団体や世話人団体ではありません。

１．連絡先を教えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな |  |
| 団体名(法人の場合､法人格から) | ＊地域ネットワーク団体名をご記入ください。 |
| ふりがな |  |
| 代表者名 |  |
| 郵便番号 |  |
| 団体の事務所所在地※個人宅の場合、必ず「気付」等の明記をお願いします。 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| E-mail （PC） |  |
| URL | http:// |
| 担当者氏名 |  | E-mail(PC) |  |
| 　　　TEL |  | TEL(携帯) |  |

・HPやfacebookページがある方は、上記URLの欄に記載ください。ない場合は、無記入で構いません。

・事務局からメール添付で資料などを送らせていただく場合があるため、メールアドレスは、携帯電話のアドレスでなく、PCメールアドレスをご入力ください。

２．団体について教えてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設立年月 | 西暦　　年　　月 | 主な活動地域（都道府県域） |  |
| 団体設立の経緯 | どのようなきっかけで、ネットワーク団体を設立されたのかを教えてください。時期なども分かる範囲で具体的にご記載ください。 |
| 団体の規模（事業費、会員、ボランティア数等）※今年度の会員・ボランティア実績は、直近の月末実績をご記入下さい。※「会員数」には賛助会員なども含みます。 | 年間総事業費 | 約　　　　　　　　　万円 | 約　　　　　　　　　　　　万円 |
| ボランティア数 | 人 | 人 |
| 会員数 | 人　　　　　　　団体 | 人　　　　　　　団体 |
| 対象地域のこども食堂数 | 箇所 | 箇所 |
| ネットワークに参加・加盟しているこども食堂数 | 箇所 | 箇所 |

新設の団体の場合は、団体の規模に関しては、事業計画内容をご記入ください。

3．対象地域におけるこども食堂への期待を教えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| こども食堂に期待している役割 |  |

４．申請者（地域ネットワーク団体）がつかんでいる現状と課題を教えてください。

「こども食堂があなたの地域で普及し、活動がしやすく、こぼれにくい地域づくりに繋げていくために、どんな現状の取り組みや連携があり、課題がありますか？」

|  |  |
| --- | --- |
| 現状 |  |
| 課題 |  |

５．主要なステークホルダー（関係者）と、それぞれとの関係性を教えてください。

（関係者は増やしていただいても結構です。）

|  |  |
| --- | --- |
| 現状の関係性 | ・県庁　□良好　□課題あり　□没交渉・県社協　□良好　□課題あり　□没交渉・市町村・市町村社協　□良好　□課題あり　□没交渉・学校（県教委・市町村教委・学校）　□良好　□課題あり　□没交渉・地域団体（自治会・PTA・母子寡婦会等）　□良好　□課題あり　□没交渉・企業・団体（商工会・JA・郵便局・地銀信金・スーパー・ロータリー等々）□良好　□課題あり　□没交渉・メディア（地元新聞、地元TV）　□良好　□課題あり　□没交渉・その他 |
| 特に課題感を抱いている相手と関係性 | *（記入例）**・県庁には一定の理解あるが、○○市、○○市が取組みなし、担当者不在。**・△△市では市教委の協力で校長会での懇談が可能となっているが、それを他市に広げたいが県教委が反応してくれない。* |

６．本助成に申請する狙いを教えてください。

（１）現時点でのコース選択を教えてください（助走期間中に変更になってもかまいません）。

A、基盤強化コース：自前でスタッフを置き、事業を遂行できる体力をつけたい。

B、当事者団体＋支援団体連携構築コース：実務を伴う事業遂行や寄付の取扱は他団体にお願いし、自らは運営者の交流や連絡会を担いたい。

|  |  |
| --- | --- |
| コース | ◻️Aコース　◻️Bコース |
| 理由や思いをご自身の言葉で書いてください。 |  |

（２−１）Aコースを選択された方へ

Aコースは、ヒト・モノ・カネを自前で調達し、事業執行していく体制を作る覚悟を固めることを意味します。その際の最大のネック（阻害要因）はなんだと思いますか？

|  |  |
| --- | --- |
| ネック（阻害要因） |  |

（２−２）Bコースを選択された方へ

Bコースは、事業執行していく団体を探し、その団体が支援団体としての役割と機能を引き受けてくれるよう説得する必要があります。その団体について教えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 誰？なぜその人・団体を巻き込みたいですか？ | ・・・ |

７、本助成に申請する意気込みや思い、伴走支援するむすびえへの期待・要望をお書きください。

助走6ヶ月、助成2年半、合計3年の長くて濃いおつきあいになります。途中いろいろあると思いますが、投げ出さず、あきらめず、お互いへの信頼感を失わずに進めることが肝要と思います。みなさんの意気込みや思い、むすびえへの期待・要望を教えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 意気込み・思い |  |
| むすびえへの期待・要望 |  |

――――

（以下、むすびえ・伴走支援基金事務局記入欄）

|  |  |
| --- | --- |
| 個別面談記録 |  |
| 確認事項 |  |